

### 三菱電機 **ビル用** エアコン 防雪キット取付説明書

PAC-KK35/36HY

WT05633X01

## 安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 <b>警告</b>	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この取付説明書と共に本体ユニットの取扱説明書・据付工事説明書・保証書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)」の資格のある者が行うこと。

## 警告

### ◎電気工事をするときに

電源用端子台に単線とより線や異なったサイズの配線を併用して使用しないこと。

● 使用した場合、ねじ緩み・接触不良により発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。

 併用禁止

電流容量などに適合した規格品の配線を使用して電源配線工事をする事。

● 漏電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。

 指示を実行

第一種電気工事士(工事条件によっては第二種電気工事士)の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。

● 電源回路容量不足や施工不備がある場合、ユニットが故障し、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

 指示を実行

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

● 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。

 指示を実行

むき配線が端子台の外にはみ出さないように接続すること。

● むき線同士が接触し、感電・発熱・発煙・発火・火災のおそれあり。

 指示を実行

### ◎サービスをするときに

分解・修理をした場合、部品を元通り取付けること。

● 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

 禁止

雨天の場合、サービスはしないこと。

● ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

 水ぬれ禁止

### ◎一般事項

移設・分解・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。改造はしないこと。

● 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

 禁止

据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。(子どもを近づけないこと)

● 工具などが落下した場合、けがのおそれあり。

 指示を実行

ユニットを水・液体で洗わないこと。

● ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

 水ぬれ禁止

異常時(こげ臭いなど)や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。

● お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。  
● 異常のまま運転を続けると、感電・故障・火災のおそれあり。

 指示を実行

濡れた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

● 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

 ぬれ手禁止

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取付けること。

● ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

 指示を実行

## ⚠ 注意

### ◎据付工事をするときに

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- けがのおそれあり。



販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、感電・火災のおそれあり。



### ◎一般事項

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻き込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



運転停止後、すぐに電源を切らないこと。

- 5分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財が濡れるおそれあり。



部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



## お願い

運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。

- シーズン中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

※一般的な室外ユニット据付けに関する内容は、室外ユニット本体に添付の据付説明書に従ってください。

## 1. 部品

この箱には、説明書の他に下記部品が入っていますので御確認ください。

ガード	シール材	パイプカバー	結束バンド
1個 	A…1個  B…2個 (70X150mm) 	φ36…1個 φ52…2個 	3個 (200mm)

## 2. 取付準備

ガードは、配線類(電源配線・INV出力配線・ユニット配線)を接続したままで取付け可能です。

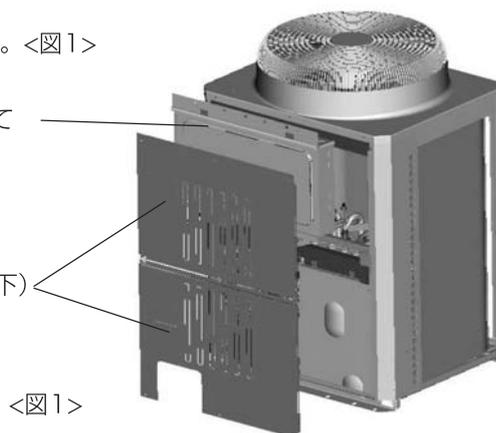
- 室外ユニット本体の元電源がOFFであることを必ず確認してください。  
作業は元電源OFF後10分以上経過してから実施してください。
- ガード取付のため、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- 制御箱はホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。
- 取付に際し、下記の工具が必要になります。  
ドライバー(+) …… パネル類等の取外し・取付けに使用  
カッターorニッパー …… ゴムブッシュのカットに使用

## 3. 取付要領

(1)パネル・制御箱カバーを取外します。<図1>

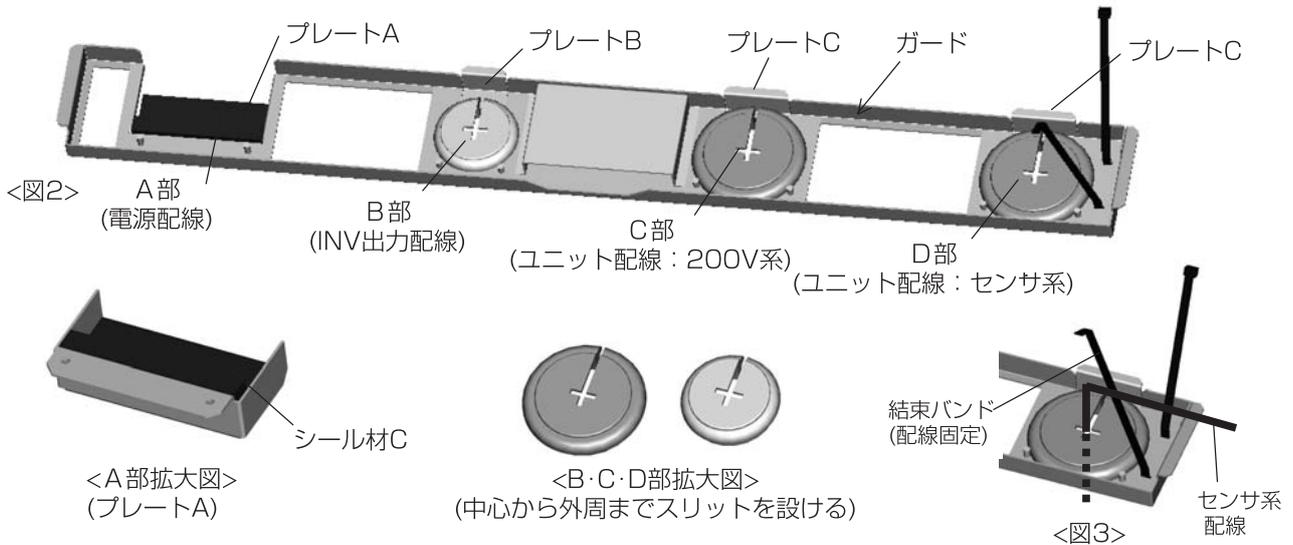
②制御箱カバーを取外してください。

①サービスパネル(上・下)を取外してください。

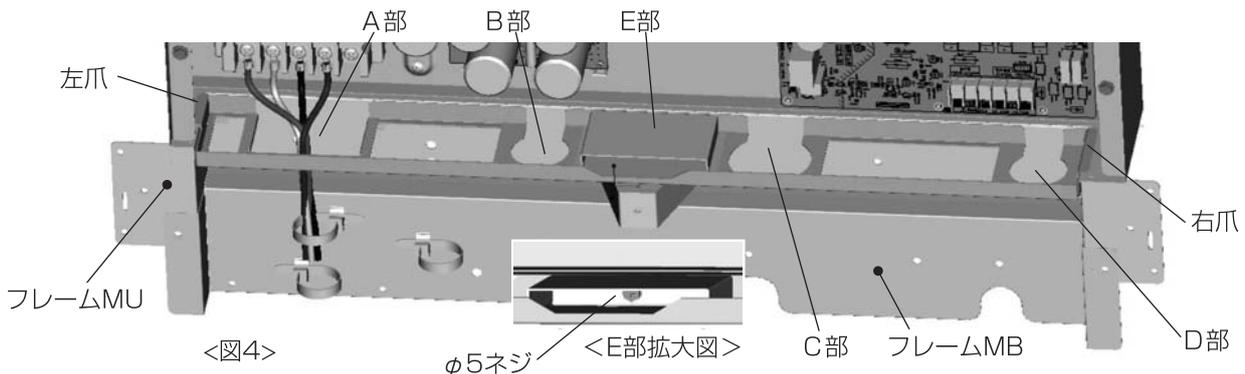


<図1>

- (2) ゴムブッシュに配線を通すスリットを設けるため、ガードからゴムブッシュ（3個）を取外します。<図2：B～D部>
- (3) 電源配線・INV出力配線・ユニット配線(200V/センサ系)を接続したままでガードの取付けを行うため、B・C・D部のゴムブッシュには中心から外周までスリットを設けて下さい。(カッターorニッパー)



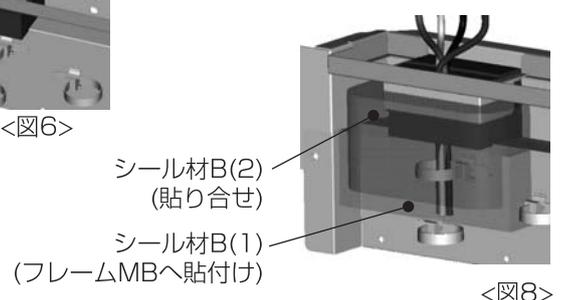
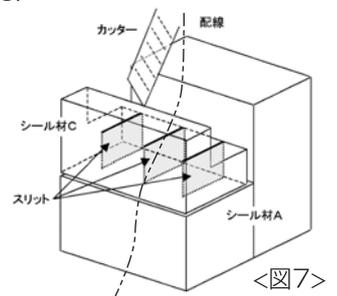
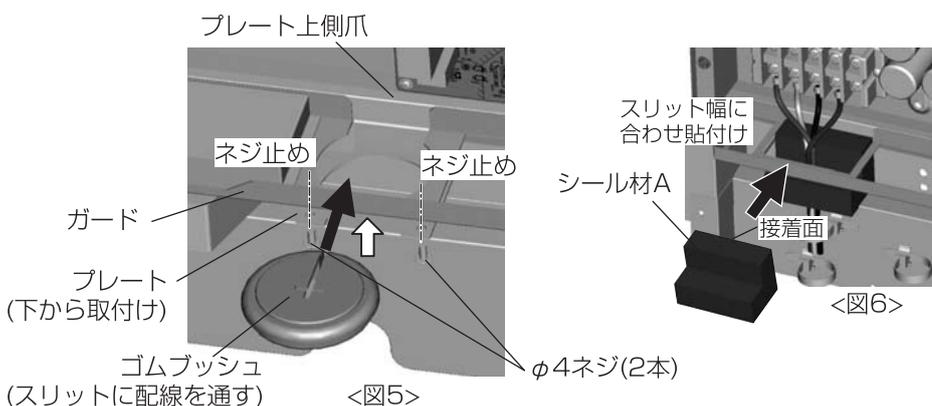
- (4) A・B・C・D部のネジ（2個×4）を外し、プレートA(1個)、プレートB(1個)、プレートC（2個）を取外します。次にE部のφ5ネジを取外します。
- (5) スリット部(A・B・C・D)に電源配線・INV出力配線・ユニット配線(200V/センサ系)を通して下さい。<図4> ガードを左爪、右爪の順に制御箱内側へ入れ、E部のφ5ネジでガードと制御箱を共締めします。

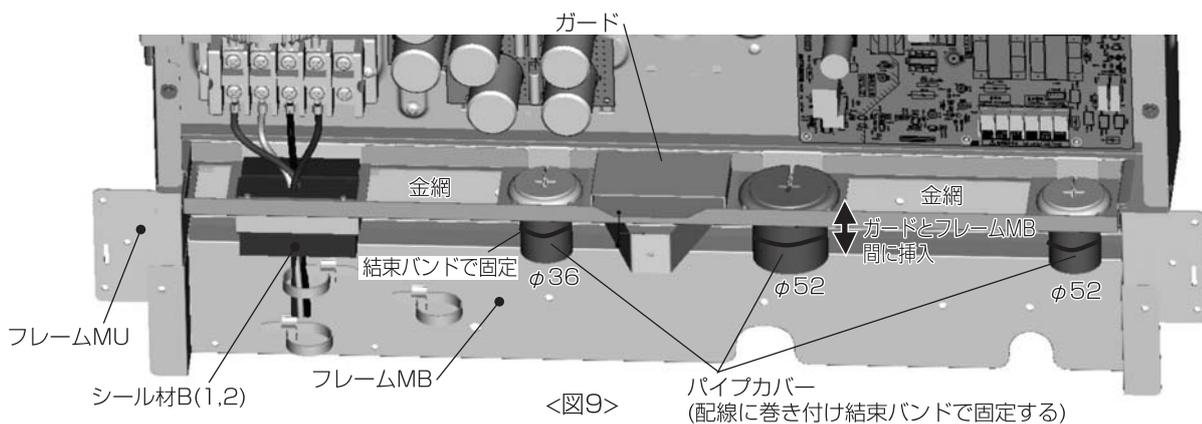


- (6) B・C・D部の下側から、図5のようにプレート上側爪を制御箱に引っかけてネジ2本でガードに取付けます。ゴムブッシュのスリットに配線を通し、ゴムブッシュをプレートとガードに取付けます。<図5> D部ユニット配線(センサ系)が制御箱基板と接触しないようガード付属の結束バンドで固定して下さい。<図3>
- (7) A部スリットを位置決めにシール材AをフレームMU(制御箱支え板金)に貼付けます。<図6> 電源配線をシール材で挟み込むようにプレートAを取付けます。

**注意** ※電源配線に合せシール材A・Cへは適宜切れ目を入れて下さい。<図7>

**注意** ※電源配線とシール材には隙間が出来ない様、注意して下さい。<図8>





<図9>

**重要** (8)付属のシール材B(2個)で電源配線/渡り配線の隙間を防いで下さい。

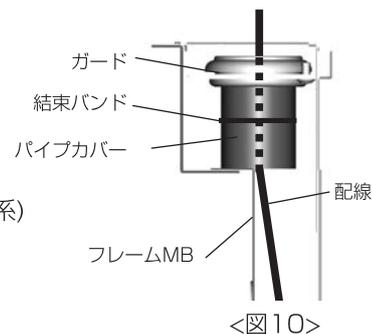
電源端子台にシール材が接触しなよう、ガード下側でシール材を電源配線に巻いて下さい。<図8>

シール材B(1)をフレームMBへ貼り付ける。

シール材B(2)を電源配線を挟む(隙間を埋める)ように図7位置へ貼り付ける。

(9)ゴムブッシュと配線の隙間を塞ぐ為、ゴムブッシュ下側のユニット配線(200V/センサ系)にパイプカバーを巻いて下さい。パイプカバーが下にズレないように、ガードとフレームMB間に挿入し結束バンドで固定して下さい。<図9, 図10>

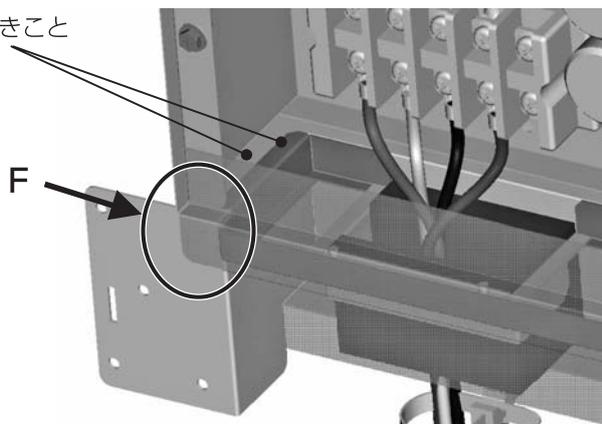
**重要** (10)制御箱カバーを取り付ける前に、ガードの左爪と右爪の浮きがないことを必ず確認し、<図11>のように制御箱カバーを取り付けてください。



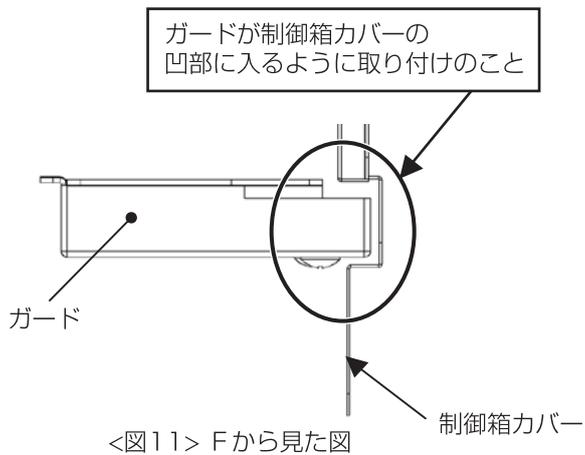
<図10>

**注意** ※ガードが端子台,基板に接触した状態で取り付けると機器故障の原因となります。

浮き無きこと



ガードが制御箱カバーの凹部に入るように取り付けのこと



<図11> Fから見た図

(11)取外した部品を分解時の逆手順で取付けます。(作業終了)